

文教警察委員会会議記録

文教警察委員長 三浦 正臣

1 日 時

令和元年5月16日（木） 午前10時38分から
午前11時12分まで

2 場 所

第2委員会室

3 出席した委員の氏名

三浦正臣、嶋幸一、阿部長夫、阿部英仁、成迫健児、高橋肇、小嶋秀行

4 欠席した委員の氏名

なし

5 出席した委員外議員の氏名

なし

6 出席した執行部関係の職・氏名

教育長 工藤利明、警察本部長 石川泰三 ほか関係者

7 会議に付した事件の件名

別紙次第のとおり

8 会議の概要及び結果

- (1) 第1号報告のうち本委員会関係部分については、承認すべきものと全会一致をもって決定した。
- (2) 閉会中の継続調査について、所定の手続を取ることとした。
- (3) 県内所管事務調査を6月4日、13日、14日、19日、20日、7月1日及び2日に実施することを決定した。

9 その他必要な事項

なし

10 担当書記

議事課委員会班 主幹 秋本昇二郎
政策調査課調査広報班 主事 佐藤千種

文教警察委員会次第

日時：令和元年5月16日（木）本会議休憩中

場所：第2委員会室

1 開 会

2 教育委員会関係

(1) 付託案件の審査

第 1号報告 平成30年度大分県一般会計補正予算（第5号）について
（本委員会関係部分）

(2) その他

3 警察本部関係

(1) 付託案件の審査

第 1号報告 平成30年度大分県一般会計補正予算（第5号）について
（本委員会関係部分）

(2) その他

4 協議事項

(1) 閉会中の継続調査について

(2) その他

5 閉 会

会議の概要及び結果

三浦委員長 ただいまから、文教警察委員会を開きます。

文教警察委員会の委員長を仰せつかりました三浦正臣でございます。

本日は、初めての委員会でございますが、本会議休憩中の委員会ということで時間も押し迫っておりますので、挨拶や自己紹介等は今回の委員会で行いたいと思います。

それでは早速審査に入ります。本日審査いただく案件は、今回付託を受けました報告1件であります。

これより教育委員会関係の審査に入ります。

まず、第1号報告平成30年度大分県一般会計補正予算（第5号）のうち、教育委員会関係部分について、執行部の説明を求めます。

工藤教育長 教育長の工藤でございます。

本日の委員会では、30年度補正予算案1件について、担当課長から説明します。

佐藤教育財務課長 大分県議会臨時会議案の7ページをお開きください。

地方自治法第179条第1項の規定に基づき、専決処分を行った第1号報告平成30年度大分県一般会計補正予算（第5号）について、教育委員会所管分を説明します。

教育委員会所管分の今回の補正は、別冊になりますが、平成30年度補正予算に関する説明書の29ページから33ページにかけて記載しています。

第10款教育費は、平成30年度の超過勤務手当及び教職員等教育関係者の退職手当が確定したことによるものです。

詳細については、お手元の委員会資料で説明します。資料の1ページをお開き願います。

この表は、平成30年度の超過勤務手当の状況をまとめたものです。表の一番右側の列の補正額（B）－（A）の一番下合計欄にありますとおり3,649万5千円の減額となっております。

続いて、2ページを御覧ください。

この表は、平成30年度の退職手当の状況をまとめたものです。今回確定した退職者数の内訳ですが、表の中ほど、所要額（B）の人数の列の一番下合計欄のとおり、定年退職375人、早期退職91人、自己都合による退職39人の合わせて505人となっております。これは、既決予算編成時の見込みを34人下回るものです。

これにより、退職手当は一番右側の列、補正額（B）－（A）の金額の列の一番下合計欄にありますとおり、9億8,371万7千円の減額となっております。

以上、超過勤務手当と退職手当の減額を合計しますと、10億2,021万2千円の減額となり、これを教育費から減額しています。

三浦委員長 以上で説明は終わりました。

これより質疑に入ります。委員の皆さまから質疑、御意見等はありませんか。

阿部（英）委員 退職者の34人、この34人がどうこうということじゃないんですけど、どうなんですか。例えば60歳で退職になるという状況を想定しながら、何人ぐらい退職があるだろうということで予算要求があると思うんです。それがたまたま34人で、少なかったとか多かったというのは、どういうことでそういう差が出るんですか。

渡辺教育人事課長 この既決予算の見込数ですけれども、30年度予算ですので、前年度となる29年度に定年、早期、自己都合ということで見込みを立てています。その際に参考にするのは、過去3年間の退職の状況です。

具体的に言いますと、26年度、27年度、28年度に定年前59歳の時点で早期退職された方の数を参考に予算を組んでいます。

例えば59歳で辞めた方は、平成26年に28名、27年が32名、28年が27名と多く辞めていましたが、29年度は22名と少なくなりました。ただ、29年度に早期退職しなかった方は、翌年定年となりますので、

結果として、30年度予算としては定年の分が少し増えて見込まれることとなります。

阿部（英）委員 教育委員会もほかと同じように60歳が一つの区切りではあるけれども、59歳ぐらいから退職者が出てきてると。

渡辺教育人事課長 退職者については、50歳から59歳までの早期退職がどうなっていたのかということのを参考に、毎年度、過去3年間に遡って見込みを立てています。その関係で…（「もういいですよ。そういう人があるんだな。60歳でぴしっと辞められるわけじゃないわけだな」と言う者あり）そうです。早期で辞める方がいます。

阿部（長）委員 教育委員会、超過勤務手当の合計が約3,600万円減額ということですね。これは、それぞれ先生に対しての超過勤務手当の減額、超勤が少なくなったということですか。

渡辺教育人事課長 この時間外勤務手当には、教員は入っていません。と申しますのは、教員については教職調整額というものが教員の給与の特別措置法の中で決められており、給与の4%相当ということで決まっています。この時間外勤務手当は、教育委員会の教員を除いた職員の超過勤務手当、例えば事務職員の時間外勤務手当の状況です。

阿部（長）委員 ということは、これは事務職員だけの金額ということですね。（「そうです。ほぼそうなっています」と言う者あり）あと、事務処理が煩雑で先生たちが長時間勤務になっているということに対する対応はどうなっているのか。超過勤務手当などがあるんですか。

渡辺教育人事課長 さきほど申し上げたとおり、教員については教職調整額ということで、給与の定率4%の金額を時間外勤務手当相当として支給をしています。それと学校の働き方改革ということが、非常に今声高に言われていますので、例えば県立学校には昨年8月からタイムレコーダーを入れて、先生も含めた全ての教職員の勤務時間の状況を把握しながら、その結果を踏まえて、教育委員会の

中でも時間外勤務の縮減に向けて取組を推し進めているところです。

阿部（長）委員 一律ということなんですね、やってもやらなくても。一人の先生は長時間になるけど、一人の先生は要領がいいから早く帰るといふ差は出てくるわけですね。

渡辺教育人事課長 そういう形での勤務時間の差はあります。そこは教職調整額で給料の4%ということ…（「はい、分かりました」と言う者あり）

小嶋委員 単純な疑問です。さきほどの答弁の中にあつたかもしれませんが、それぞれのカテゴリーごとというか、小学校、中学校ですが、定年退職の数字の見込み違いがあります。例えば小学校で定年退職197人を見込んでいたが、204人だったと。定年退職が59歳、60歳の2か年を言うのかどうか分かりませんが、この数字の見込み違いがどういう理由かを教えてください。

渡辺教育人事課長 この30年度の既決予算額の定年の欄ですけれども、29年度に59歳の者を対象に見込んでいます。そうして見込みをするんですが、さきほど阿部委員からお話ありましたが、早期に退職される職員がいるものですから…（「1年前に辞めたりするのかな」と言う者あり）はい。50歳から59歳までですね、過去3か年の早期退職の者の状況も見て予算を立てています。

この59歳の者で申し上げますと、26年度に28名、27年度に32名、そして28年度に27名、早期で59歳で退職をしたんですけれども、29年度は22名ということで少なかったです。29年度に59歳の方は、30年度には60歳になって定年で辞めるといふことで、過去3年の早期退職の状況を見込んだ以上に退職者が少なくなり、結果として30年度の定年のところで4名見込額が増えているという状況になっています。

小嶋委員 それじゃあ、60歳で辞めるであろうと思われた人も、59歳で辞めた数が見込み違いだったということですかね。

渡辺教育人事課長 そのとおりです。

小嶋委員 それでは最後になりますが、何人か辞めているんですね。1年を残して辞める理由ですが、傾向としてあるんでしょうけど、それは主にどういう理由でしょうか。

渡辺教育人事課長 早期退職については、家族の介護であったり御自身の健康状況であったり、そういった中で発生しています。ただ、早期退職の数ですけれども、平成27年度が123名、28年度が107名、29年度が110名、そして30年度は91名ということで、全体として早期退職者は減少しています。（「分かりました」と言う者あり）

三浦委員長 ほかによろしいですか。

〔「なし」と言う者あり〕

三浦委員長 ほかに御質疑等もないので、これで質疑を終わります。

なお、採決は警察本部の審査の際に一括して行います。

以上で、付託案件の審査を終わります。この際、何かありませんか。

久保田高校教育課長 高校教育課の久保田でございます。お時間をいただき感謝します。

お手元にある封筒の中に、くじゅうアグリ創生塾の完成記念式典の御案内を入れていません。封筒内の実施要綱を御覧ください。

日時は、5月21日10時30分から久住高原農業高校の体育館で開会します。その後、くじゅうアグリ創生塾に移動していただき、施設見学、生徒と一緒に食堂での食事を企画しています。午後からは第1回の研修が行われます。

記念講演では、東京農業大学の名誉教授の小泉先生に来ていただきます。また、パネルディスカッション等も計画しています。杵築市で酪農経営をしている田畑修一さん、それから、日田市で果樹経営をしている財津さゆりさんをお招きして、生徒とともにディスカッションを行います。

御多忙のことと思いますけれども、ぜひ御参加いただきたいと思います。大変申し訳ありませんが、明日の正午を締切りということで、封筒の中にファクス用紙を入れてあります

ので、ぜひ御協力をお願いします。駐車券等も中に入れてありますので、お越しの際は、担当に提示いただきたいと思います。よろしくをお願いします。

三浦委員長 そのほかに何かありませんか。

〔「なし」と言う者あり〕

三浦委員長 ほかにないようですので、これをもちまして、教育委員会関係の審査を終わります。

執行部はお疲れさまでした。

〔教育委員会退室、警察本部入室〕

三浦委員長 これより、警察本部関係の審査に入ります。

文教警察委員会の委員長を仰せつかりました三浦正臣でございます。どうぞ、よろしくをお願いします。

本日は、初めての委員会ではありますが、挨拶や自己紹介等は、次回の委員会で行いたいと思います。

早速ですが、第1号報告平成30年度大分県一般会計補正予算（第5号）のうち、警察本部関係部分について、執行部の説明を求めます。

石川警察本部長 警察本部長の石川でございます。

三浦委員長をはじめ、委員の皆さまには、平素から警察業務の各般にわたり御理解と御協力、御指導を賜わり、心より厚く御礼を申し上げます。

委員の皆さま方には、一年間、高い見地から警察業務に対する御意見、御要望をいただけたと思いますので、よろしく御願い申し上げます。

本日の報告案件である平成30年度大分県一般会計補正予算（第5号）については、会計課長から説明します。

田原会計課長 第1号報告平成30年度大分県一般会計補正予算（第5号）のうち、警察本部関係について説明します。

お手元の大分県議会臨時会議案12ページ

をお開きください。

ページ中ほどの第9款警察費の補正額は、9,697万7千円の減額で、これを既決額から減額しますと、補正後の総額は272億8,482万8千円となります。項別では、補正額の全額が第1項警察管理費となります。その内容について、別冊の平成30年度補正予算に関する説明書により説明します。

27ページをお開きください。

今回の補正予算額9,697万7千円の減額については、全額、第2目警察本部費であり、事業名では給与費に計上しています。具体的には職員手当等ではありますが、退職手当の所要額が見込みを下回ったことなどにより減額となったものです。

三浦委員長 以上で説明は終わりました。

これより質疑に入ります。委員の皆さまから質疑、御意見等はありませんか。

小嶋委員 減額なのでいいと思うんですけど、約9,600万円の内訳について、退職見込みがこれだけ少なかった、見込みはしてたけどこれだけ少なかったということが、何か資料としてあれば丁寧な説明になると思うんですけど。この議案書と説明書だけでは、何をどう審議していいかわからない。地方自治法ではこの説明でいいということになってるのかも知れませんが、願わくばもう少し審議を補足する資料をお願いしたいと思います。今後の要望にします。

田原会計課長 分かりました。では、次回からそのように作成したいと思います。

なお、参考ですけども、3月に比べて退職者が9名ほど見込みより減りましたので、その分が減額となっています。（「はい、ありがとうございました」という者あり）

三浦委員長 ほかにありませんか。

〔「なし」という者あり〕

三浦委員長 ほかに御質疑等もないので、これより、さきほど審査した教育委員会関係部分も含めて採決いたします。

本報告のうち、本委員会関係部分については、承認すべきものと決することに御異議あ

りませんか。

〔「異議なし」という者あり〕

三浦委員長 御異議がないので、本報告のうち本委員会関係部分については、承認すべきものと決定いたしました。

以上で付託案件の審査を終わります。

この際、何かありませんか。

〔「なし」という者あり〕

三浦委員長 別にないようですので、これをもちまして、警察本部関係の審査を終わります。

執行部はお疲れさまでした。

〔委員外議員、警察本部退室〕

三浦委員長 次に、閉会中の所管事務調査の件について、お諮りします。

お手元に配付のとおり、各事項について閉会中の継続調査をしたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」という者あり〕

三浦委員長 御異議がないので、所定の手続きを取ることにします。

この際、ほかに何かありませんか。

〔「なし」という者あり〕

三浦委員長 なければ、昨日の県内所管事務調査の日程について、事務局から説明をお願いします。

〔事務局説明〕

三浦委員長 それでは、6月25日、26日に予定していた調査は、7月1日、2日に変更して日程を決定します。

以上をもちまして委員会を終わります。

お疲れさまでした。